

西鶴賀便り

発行
長野市中心市街地
活性化協議会
長野県建築士会
ながの支部

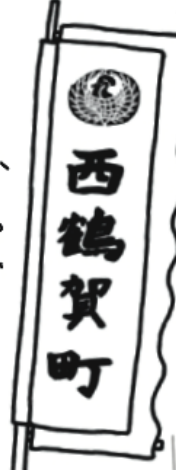
協力
西鶴賀町

秋祭り

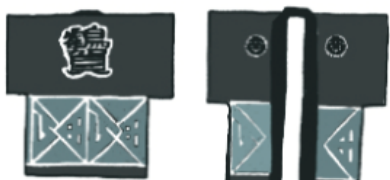


「暑いのもいいけど、雨もいいよね〜!!」

西向きの鶴印



前号の訂正と補足



前号で「法被」と表現しましたが、正しくは「半てん」でした！お祭りの際、着物やゆかたの上に羽織る、田の「印半てん」です。初代半てんには見えない内側に模様がおしゃれな総柄が施されていたとか。桜枝町の吉井屋呉服店に町の印旗ともどもお世話になっているそうです。

お祭り初参加 9軒長屋の 若手四人衆に しもん

① 若連会の皆さんと町の隅々まで歩いて、普段あまり通らない場所や行ったことのないお店を知ることができました。温かい人がたくさんいて、魅力的なこの町のことをもっと知りたいと感じました。

② 一番衝撃的だったのは、最後に花火の下でお神輿を担いだことです。お神輿を担ぎ、町内を練り歩いたことも楽しかったのですが、何より町の皆さんと一つのことをできた達成感がありました。

お祭を表す一字は「華」
シニアハウス 六車さん

生憎の天気の中でも、それに負けない活気やきらびやかさがとてもかっこよかったし、皆さんが笑顔で楽しんでる姿が本当にいいお祭りだと感じました。

③ 一人一人と顔を合わせられて、以前より西鶴賀という町を知り、町の一部になった感じがしてうれしかったです。若連会に同じパッションで返せる町にも底力を感じました。住民歴は短いけれど、こころにも愛着を持つことができても感謝しています。

② 一軒一軒回る木遣りが衝撃で、大人が本気で取り組む「かっこよさ」に打たれました。一引き締まる伝統文化と程よいクレイジーさと本気のパッションを同時に感じられるとんでもないお祭りでした(笑)

お祭を表す一字は「北月」
シニアハウス 須田さん

力強い西鶴賀の魅力や、本気の大人たちの「背」と自ら「神輿」を背負うことで感じることができました。抜背負い(わっしょい)！

③ 若連のみなさんの懐の深さを再認識しました。あまり交流が深くない、なんなら初対面の方も多くいた中で、新参者の僕たちを快く受け入れて、コミュニケーションを取っていただけで、来るもの拒まぬご姿勢に懐の深さを感じました。

② お祭りの楽しさ。特にクライマックスの花火の中での神輿は、こんな楽しいお祭りある？とびっくりしました(笑) 人生の中でも忘れられない光景です。

お祭を表す一字は「花」
古着屋 中川さん

僕ら新参者を受け入れ、雨でも絶対にやり切ろうとされ、お祭りを成功させたみなさんの漢気。単純にお神輿が重かったということもあるのですが、今ではあまり見られないある種の漢臭さや、お祭りを通じて感じました。

③ 若連会は外部の人への壁が全くないと思った。並普通今年来て一年でいなくなる大学生に少しは壁ができてきたけど、それがなかった。第一印象は怖くて漢って感じの方が多かったです。話しかけるとすごく柔らかい表情になってゆっくりお話ししてくれる。まちづくり的な視点になっちゃったんですけど、若者やまちづくりの担当者の方針や企画を丸投げする風土がないのかもしれないと思いました。僕らが主体で遠慮なく混ぜてくれ、っていう姿勢。

② 木遣りの先輩をやらせてもらったこと。それに対してフローヤお褒めの言葉をいただいたこと。

お祭を表す一字は「腹」
古着屋 小関さん

おいしーいご飯を振る舞われてお腹いっぱい、腹から声を出す木遣り、お酒を飲んで腹を割って話す飲み会

質問の内容 ① 今回のお祭を表す一字とその理由 ② 印象的だったこと ③ 参加後の若連会や町への印象の変化